

# Emerging & Growth ～先進技術力と社会変革力をグローバルビジネスの突破口に

将来を見据えた新規ビジネスの発掘や有望な Emerging フェーズの技術探索に加えて、事業として大きく成長が期待できる Growth フェーズの技術領域を選定し集中的に投資することで事業規模拡大をめざす。さらに、IOWN と Green の 2 テーマを重点施策とし、新たな社会価値創出に向けた技術開発に挑戦する。

## 先進技術活用力で、技術力におけるポジションを確立

特に先進的な技術の目利きとイノベーションをメインミッションに据えているのが技術開発本部だ。10周年を迎えた NTT DATA Technology Foresight (トレンド策定・発信活動) によるテクノロジーの将来探索や、グローバルでのイノベータ顧客との共創、そして量子コンピューティングやゲノム解析など新規領域の開拓、OSS コミッタによる社外コミュニティでの活躍など、世界トップクラスの先進技術活用力を日々磨いている。

また、先進技術活用力をグローバルのビジネスに活かし強みとするため、グローバルテクノロジーアセットの整備を本格的に開始した。これ

からの成長市場で活用可能なグローバルテクノロジーアセットを用意し、各リージョンの事業部門に展開することで、技術起点でグローバルビジネス拡大を実現していく。今後はビジネス仮説検証とグローバルテクノロジーアセットの開発・展開を並行して推進して、NTT データの技術力の存在感を際立たせていく。

## 新しい社会価値の創出へ

新たな社会価値創出の重点施策テーマとして、IOWN と Green を定めている。IOWN は要素技術の研究開発を推進する NTT 研究所と連携し、研究成果を顧客に展開・事業化できるよう、共通テストベッドの開発や、社会変革パートナーとの共



株式会社 NTT データ  
技術革新統括本部  
部門執行役員 統括副本部長 兼 技術開発本部長  
田中 秀彦氏

創 R&D を実施するデジタルツイン共創プログラムの展開を始めている。Green に関する取り組みとして、温室効果ガス (GHG) 排出量が少ないソフトウェア (グリーンソフトウェア) の実現に向けて、CO<sub>2</sub> 排出量可視化や計測の仕組み、ルール作りなど、技術面から貢献している。

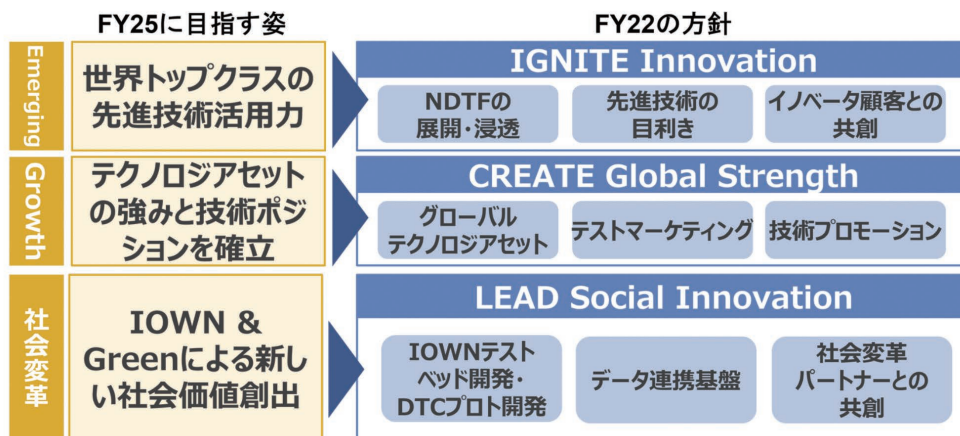


図 2 Emerging・Growth・社会変革 方針